

I grew up on manga

My hometown was in a remote part of Alaska, it was pretty small sitting at maybe 9,000 people. We had a military base which helped but I digress. For one of my birthday presents I got a copy of *Shonen Jump*. It had all the 2000's classics, *Naruto*, *One Piece*, *Bobobo-bo-bobobo*, *Shaman King*, and *Gintama* among others. Unfortunately, I could only find *Naruto* and *One Piece* at the local bookstore. And even then, it was a matter of them only carrying the first volumes, which were quickly consumed. They were maybe the only comics I read.

It was after moving to a major city that had a Barnes and Noble (one of the major book chains, like Tsutaya) that I could really dig into volumes ten and eleven of *Naruto* and *One Piece* as well as new manga like *Fullmetal Alchemist* and *Love Hina*. I would talk about *BLEACH* with my high school friends.

It was not until after college that I really got into reading manga again. The local library even had gotten a graphic novel section of which manga was included (In America, comics refers to comic books, ten to sixteen-page booklets. Tankobon volumes are redubbed as graphic novels.). I read some of the new popular ones like *Demon Slayer* and *Attack on Titan* as well as a couple from titles that interested me, like *Delicious in Dungeon*, *Silver Spoon*, and *Golden Kamuy*. Of course, I tried to catch up on *One Piece* too.

They inspired me to get into cooking, especially *Delicious in Dungeon* and *Food Wars*. The care that the authors put into writing the food scenes made me want to participate in that culture and learn more about how to cook efficiently. I'm shy and like to take baby steps so I started with cooking salmon for my grandfather. Just writing about them makes me want to reread them.

Hope you are having a wonderful summer vacation, talk to you later.



ALT
Leonard
シナド

英語で
あれこれ
4

私は漫画に囲まれて育ちました

故郷はアラスカの奥地で、人口はおよそ9,000人とかなり小さな町でした。そこに軍事基地があったおかげで多少は助かりましたが、それはさておき。ある誕生日のプレゼントとして、『少年ジャンプ』を1冊もらいました。そこには2000年代の名作がすべて載っていました。『ナルト』、『ワンピース』、『ボボボーボ・ボーボボ』、『シャーマンキング』、『銀魂』などです。残念ながら、地元の書店で見つけられたのは『ナルト』と『ワンピース』だけでした。それでも、店頭に並んでいたのは最初の数巻だけで、それらはあっという間に売り切れてしまいました。おそらく、私が読んだ漫画はこの二作品だけでした。

バーンズ・アンド・ノーブル(ツタヤのような大手書店チェーンの一つ)がある大都市に移ってから、『鋼の錬金術師』や『ラブひな』といった新しい漫画はもちろん、ようやく『ナルト』や『ワンピース』の第10巻、第11巻などを本格的に読めるようになり、高校時代の友人たちと『BLEACH』について語り合ったものでした。

大学を卒業してようやく、私は再び本格的に漫画を読むようになりになりました。地元の図書館には、漫画も含まれる「グラフィックノベル」のコーナーさえ設けられていました(アメリカでは、「コミックス」という用語は、10ページから16ページ程度の小冊子であるコミックブックを指します。単行本は「グラフィックノベル」と呼ばれます)。『ダンジョン飯』、『銀の匙』、『ゴールデンカムイ』など興味を引いたいくつかの作品はもちろん、『鬼滅の刃』や『進撃の巨人』といった新しい人気作品も読みました。もちろん『ワンピース』の読み返しにも取り組もうとしました。

これらの作品、特に『ダンジョン飯』と『食戟のソーマ』は、私が料理を始めるきっかけになりました。作者たちが料理のシーンを描く際に注いだ細やかな配慮に触れ、私はその文化に触れてみたい、そして効率的な料理の仕方をもっと学びたいと思うようになりました。私は恥ずかしがりやで、少しずつ進めていくのが好きなので、まずは祖父のためにサーモンを調理することから始めました。これらの作品のことを書いているだけで、また読み返したくなります。

素晴らしい夏休みを過ごしていることを願っています。またお話ししましょう。



としょしつだより

涼しい図書室で、
読書を楽しみませんか？

◇8月新着図書 一般書 23冊 児童書 23冊

8月5日(水)の新着図書の展開は46冊です。

※到着状況により遅れがでる場合があります。予めご了承ください。

図書室休室日のお知らせ

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

は休室日 ※8/11(火)は山の日で祝日なので開館します。

※9/22(火)は国民の休日なので開館します。

開室時間：午前8時30分～午後5時15分

8月の企画展示

児童図書

夏休み特集②

一般

夏のホラー特集



◇一般図書
空家と移住 著／垣谷美雨
「家を買いたい人」と「家を手放したい人」。それぞれの思いが交差する、現代の住まい事情を描いた小説です。都内でまじめに働いても家を持つことが難しい若い夫婦と、田舎に残された実家の処分に悩む女性。二つの物語は、「空家」や「移住」という身近な社会問題を通してつながっていきます。笑いを交えながらも、住宅価格の高騰や地方の空き家問題、これからの暮らし方について考えさせられる一冊です。今の時代だからこそ、多くの人に読んでいただきたい作品です。



◇児童図書
おむすびころりん 作／さいとうしほ
「おむすびころりん、すっとんとん」と、思わず口ずさみたくなる日本の昔話です。山でおむすびを落とすおじいさんが、ねずみの国へ迷い込み、不思議な出来事に出会います。昔から親しまれてきた物語を、さいとうしほさんの温かく表情豊かな絵で楽しめる一冊です。繰り返し読める言葉や親しみやすいイラストは、小さなお子さんの読み聞かせにもぴったり。親子で一緒に声に出して読みながら、日本の昔話の世界に親しんでみませんか。

本の購入リクエスト・リサイクルについて

図書室では、利用者から本の購入リクエストを受け付けております。

寄贈本に関しては、広野町ゆかりの図書を収集します。一般図書は可能な限り新刊本を収集します。

詳しくはスタッフまでお尋ねください。

6月の貸出ランキング

1位	ま、いっか！	作：サトシン
2位	白露	著者：今野敏
3位	大河の一滴最終章	著者：五木寛之
4位	岩手の大盛弁当屋	著者：高森美由紀
5位	明鏡	著者：今野敏

広野文芸欄

季節を詠む 時流を読む
広野町文月句会 猪狩行々子選



空豆のふかふか英に二つ三つ	鳥瓜の花に出会える残業日	手のひらの木苺三つ杖の人	雨に揺れ雨に煙りぬ栗の花	守り抜く瑞穂の国の田草取る	今朝からは新茶ですよと供へけり	梅仕事梅のアロマに包まるる	一人居の自由のひとつ午睡かな	愛犬と並んで座り縁涼み	飯免の路上講習油照
浅川 幸子	塩 史子	令 子	郁 子	健太郎	遠藤 恵美子	暁 月			

会員募集のお知らせ

広野町俳句会では、会員を募集しています。俳句に興味のある方大歓迎です。俳句を通してみなさんと交流してみませんか。詳しくは、下の連絡先までお問い合わせください。

問 広野町俳句会 ☎090-7063-1676

問 広野町図書室 ☎0240-27-3211 e-mail : hirono-library@abelia.ocn.ne.jp